



# 社会を生きぬく確かな学力の育成【拡充】

43,289千円

## 目的

- 変化が激しく将来の予測が困難な社会を生きぬくため、「様々な情報から必要な情報を的確に捉え、主体的に判断する力」や「他者と協働し、生活や社会の中で出会う課題を解決する力」などが求められている。
- こうした資質・能力を持つ児童生徒を育むため、主体的・協働的な学びによる確かな学力の育成を図る。

## 事業内容

- (1) 学力向上支援チームの設置【新規】 9,344千円
  - ・指導主事と学力支援アドバイザーからなる学力向上支援チームが学校を訪問し、各校の課題に応じた授業改善等の指導・助言を実施する。
- (2) 学力向上推進会議の設置【新規】 1,296千円
  - ・外部有識者による県学力向上施策の評価と改善。
  - ・算数・数学及び英語の評価問題の作成、配布、実施。
- (3) ICT活用による学習活動の充実【新規】 1,430千円
  - ・小4校、中4校の計8校をICT教育推進拠点校に指定し、大型提示装置、実物投影機、タブレット等を活用した効果的な指導法の実証を行う。
  - ・授業公開、実践事例集による指導法の普及。
- (4) 「探究型学習」の推進 31,219千円
  - ・各校における「探究型学習」の成果検証のための山形県学力等調査（小5・中2）を実施する。
  - ・各教育事務所で探究型学習地区研修会を開催し、「探究型学習」の充実を図る。

